

わらびて

146
号



花巻市大谷地Ⅲ遺跡出土土器

花巻市大谷地Ⅲ遺跡は令和3年に発掘調査が行われ、奈良時代の蝦夷集落であることが分かりました。調査の結果、写真の土器が出土しました。中央の大きな甕から左が赤彩土器、右は通常の土師器です。

赤彩土器とは赤く彩色された素焼きの土器で、器種は球胴甕きゆうどうがめが多く、蝦夷の儀式的器として知られています。大谷地Ⅲ遺跡では、甕だけでなく、坏にも赤彩が施されているものが見つかっており、蝦夷の重要な集落の一つであったと考えられます。

(主任文化財専門員 八木 勝枝)

主な内容

- ◆ 令和3年度県内市町村等が行った発掘調査の成果 2,3P
- ◆ 令和4年度(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの発掘調査 4,5P

シリーズ

- ◆ 東日本大震災関連復興調査から見た三陸の歴史 Part2(沿岸北部1) 6,7P

【所報名について】「わらびて」は蕨手刀(わらびてとう)に由来しています。蕨手刀は、奈良～平安時代初期に使われた鉄製の刀で柄頭が早蕨(さわらび)の芽を巻いた状態に似ていることからこう呼ばれます。群集墳などから出土し、東北地方、特に岩手県で多く出土しています。

緊急調査のほか、史跡の内容確認調査も

岩手県内の市町村教育委員会等が行った令和3年度調査の成果

令和3年度に県内の市町村教育委員会等による発掘調査は、個人住宅や土地造成、ライフラインの整備に伴う緊急発掘調査を中心に行われ、史跡の整備を目的とした内容確認調査についてもあわせて実施されました。

縄文時代

縄文時代の遺跡は、県内全域において広く確認されています。

【緊急発掘調査】

北上市の「成田岩田堂館跡」^{なりたいわた どうたて}では、送電線鉄塔建設に伴う発掘調査が行われ、縄文時代中期中葉の集落跡が見つかりました。

洋野町内陸部の風力発電所建設に伴う「西戸類家Ⅰ遺跡」^{にしへる けいち}では、縄文時代後期後葉のものと思われる竪穴住居跡が確認され、青森県の十腰内式^{とこし}の特徴を持つ土器が出土しています。

【史跡の内容確認調査】

釜石市の「屋形遺跡」^{やかた}（令和2年度に国史跡指定）では、詳細な調査により竪穴住居跡が確認されるとともに、史跡の隣接地においては、地元小学校の5年生を対象とする発掘を体験する授業も行われました。

洋野町では、昨年度に引き続き「西平内Ⅰ遺跡」^{にしひらないち}の内容確認調査を、岩手県立博物館と共同

で実施しており、環状列石とともに縄文時代後期後葉の土器や土製品が確認されています。

古 代

盛岡市の「下永林遺跡」^{しもながぼやし}では、平成28年度から継続して土地区画整理事業に伴う調査が行われており、奈良～平安時代の円形周溝7基とともに、一部には主体部（故人を埋葬した場所）を持つ遺構が確認されています。

北上市の集合住宅建設に伴う「丸子館跡」^{まるこだて}の調査では、9世紀後半のものと推測される幢幡遺構^{どうばん}（儀式の際に旗を設置する穴）が見つかり、県内では毛越寺跡などで類例があるのみです。

二戸市の区画整理に伴う「前小路遺跡」^{まえこうじ}の調査では、9世紀末～10世紀初頭の鍛冶遺構を伴う大型の竪穴住居跡が確認されています。

中・近世以降

【緊急発掘調査】

個人住宅の新築に伴う、盛岡市の「里館遺跡」^{さとく}の調査では、中世から戦国期のものと推測される堀跡1条が、紫波町の「比爪館遺跡」^{ひづめだて}からは中世の大溝1条が、それぞれ見つかっています。

遠野市の「宮代Ⅳ遺跡」^{みやしろ}、「宮代経塚遺跡」^{みやしろきょうづか}では、土砂の採取に伴う調査が行われ、12世紀後半の経塚と推測される遺構3基とともに、渥美窯の壺や中国龍泉窯の青磁碗などが出土しました。



大型竪穴住居跡の調査（二戸市・前小路遺跡）

【内容確認調査】

世界遺産「平泉」の構成資産である「観自在王院跡」、「毛越寺跡」の調査では、12世紀の道路遺構や車宿、仏堂の基壇などが確認されました。

盛岡市の「盛岡城跡」では、三ノ丸地区と本丸地区の調査が行われ、大規模な石垣の積み直しを行っている三ノ丸地区では、江戸時代の控柱跡8口とともに、宝永以降の石垣や多くの種類の瓦が出土しています。



三ノ丸での石垣調査（盛岡城跡）

令和3年度に市町村が行った本発掘調査

No.	遺跡名	所在地	調査主体	主な時代	種別
1	国指定史跡 盛岡城跡（三ノ丸地区）	盛岡市	市教育委員会	近世	城館跡
2	国指定史跡 盛岡城跡（本丸地区）	盛岡市	市教育委員会	近世	城館跡
3	小屋塚遺跡	盛岡市	市教育委員会	縄文	集落跡
4	下永林遺跡	盛岡市	市教育委員会	縄文・古代	墓域
5	里館遺跡	盛岡市	市教育委員会	中世	城館跡
6	新茶屋遺跡	盛岡市	市教育委員会	縄文	集落跡
7	盛岡城遠曲輪跡	盛岡市	市教育委員会	古代・近世	集落跡 城館跡
8	百目木遺跡	盛岡市	市教育委員会	古代	集落跡
9	二又遺跡	盛岡市	市教育委員会	古代	集落跡
10	比爪館遺跡(34次)	紫波町	町教育委員会	古代・中世	城館跡
11	古館橋遺跡(9次)	紫波町	町教育委員会	平安	散布地 集落跡
12	日語西遺跡(2次)	紫波町	町教育委員会	平安	集落跡
13	古館橋遺跡(10次)	紫波町	町教育委員会	縄文・平安	集落跡
14	古館橋遺跡(11次)	紫波町	町教育委員会	平安	集落跡
15	稲村I遺跡(2次)	紫波町	町教育委員会	平安	集落跡
16	間野村II遺跡	紫波町	町教育委員会	平安・近世	集落跡
17	施田I	花巻市	市教育委員会	縄文	狩猟場 集落跡
18	花巻城三之丸	花巻市	市教育委員会	中世～近世	城館跡
19	花巻城三之丸	花巻市	市教育委員会	近世～近代	城館跡
20	花巻城本丸	花巻市	市教育委員会	近世	城館跡
21	丸子館跡	北上市	市教育委員会	縄文・古代	城館跡
22	立花南遺跡	北上市	市教育委員会	古代	集落跡
23	下仙人館跡	北上市	市教育委員会	中世	城館跡
24	成田岩田堂館跡	北上市	市教育委員会	縄文	集落跡
25	林前南館跡	奥州市	市教育委員会	縄文	狩猟場 城館跡
26	白鳥館遺跡	奥州市	市教育委員会	中世～近世	城館跡
27	長者ヶ原廃寺跡	奥州市	市教育委員会	古代	寺院跡
28	骨寺村荘園遺跡	一関市	市教育委員会	縄文	荘園跡
29	本木遺跡・地の神II遺跡	一関市	市教育委員会	縄文	散布地
30	西光寺裏遺跡	一関市	市教育委員会	縄文・近世	散布地
31	萩の馬場跡遺跡	一関市	市教育委員会	縄文・近世	宿駅
32	祇園II遺跡	平泉町	町教育委員会	古代～近世	散布地・ 社寺跡
33	白山社遺跡	平泉町	町教育委員会	中世	社寺跡
34	無量光院跡	平泉町	町教育委員会	中世～近世	社寺跡
35	志羅山遺跡	平泉町	町教育委員会	中世～近世	屋敷地
36	観自在王院跡	平泉町	町教育委員会	中世	社寺跡
37	毛越寺跡	平泉町	町教育委員会	中世	社寺跡
38	長谷堂貝塚群	大船渡市	市教育委員会	縄文	集落跡 ・貝塚

No.	遺跡名	所在地	調査主体	主な時代	種別
39	宮代IV遺跡 宮代経塚遺跡	遠野市	市教育委員会	中世	経塚
40	橋野高炉跡	釜石市	市文化スポーツ部	近代	製鉄跡
41	屋形遺跡	釜石市	市文化スポーツ部	縄文	集落跡 貝塚
42	赤前I牛子沢遺跡	宮古市	市教育委員会	奈良	集落跡
43	礼堂一里塚	山田町	町教育委員会	近世	一里塚
44	門前I遺跡	久慈市	市教育委員会	縄文	狩猟場 散布地
45	中平遺跡	野田村	村教育委員会	古代	狩猟場 集落跡
46	中平遺跡	野田村	村教育委員会	古代	集落跡
47	西戸類家I遺跡	洋野町	町教育委員会	縄文	集落跡 散布地
48	西戸類家III遺跡	洋野町	町教育委員会	縄文	狩猟場
49	西戸類家V遺跡	洋野町	町教育委員会	縄文	狩猟場
50	西戸類家VIII遺跡	洋野町	町教育委員会	縄文	狩猟場
51	南戸類家I遺跡	洋野町	町教育委員会	縄文	狩猟場
52	南玉川III遺跡	洋野町	町教育委員会	古代～中世	集落跡
53	南玉川VIII遺跡	洋野町	町教育委員会	縄文	狩猟場
54	南玉川IX遺跡	洋野町	町教育委員会	縄文	狩猟場 集落跡
55	松ヶ沢III遺跡	洋野町	町教育委員会	縄文	狩猟場 集落跡
56	西平内I遺跡	洋野町	町教育委員会	縄文	祭祀遺跡
57	三ノ丸遺跡	二戸市	市教育委員会	縄文	城館跡
58	在府小路遺跡 (第36次)	二戸市	市教育委員会	平安	集落跡
59	在府小路遺跡 (第37次)	二戸市	市教育委員会	平安	集落跡
60	上里遺跡群 暗山遺跡(第42次)	二戸市	市教育委員会	縄文～古代	集落跡
61	史跡九戸城跡	二戸市	市教育委員会	縄文～中世	城館跡
62	上里遺跡群 暗山遺跡(第43次)	二戸市	市教育委員会	縄文～古代	集落跡
63	駒焼場遺跡	二戸市	市教育委員会	古代	集落跡
64	在府小路遺跡 (第38次)	二戸市	市教育委員会	縄文	散布地
65	前小路遺跡 (第78次)	二戸市	市教育委員会	縄文～中世	集落跡
66	堀野遺跡群 長瀬遺跡(第2次)	二戸市	市教育委員会	縄文	集落跡
67	前小路遺跡 (第79次)	二戸市	市教育委員会	古代～中世	集落跡
68	上里遺跡群 暗山遺跡(第44次)	二戸市	市教育委員会	縄文～古代	集落跡
69	下川又遺跡	二戸市	市教育委員会	奈良	集落跡
70	山内中村2遺跡	軽米町	町教育委員会	縄文	散布地

令和4年度 (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

縄文時代や奈良・平安時代など

8遺跡 約8万㎡を調査

今年度、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターでは、8遺跡・79,627㎡の発掘調査を行う予定ですが、調査地は県央部から県南部にかけての3市1町、沿岸北部の1町1村、同じく南部1市に及びます。

震災以降行ってきた沿岸部の復興関連調査が完了し、今年度は通常の開発行為に伴う調査を主体として、県内の市町村関連の事業も受託しています。

縄文時代

当センターで調査実績がある当該期の遺跡として、野田村中平遺跡、洋野町サンニヤⅢ遺跡が挙げられます。前者は縄文時代前期の集落跡、後者は狩り場であることが確認されており、新たな発見が期待されます。

この他、花巻市東和の天ヶ沢遺跡・滝大神Ⅰ遺跡、北上市岡田遺跡、釜石市太田林遺跡の3遺跡が新たに発掘調査の対象となりました。中でも、橋野地区に所在する太田林遺跡は、前期から晩期にかけての住居跡や、それに伴う大量の遺物の出土が見込まれています。また、この遺跡からは弥生時代後期の、滝大神Ⅰ遺跡からは縄文時代末から弥生時代初頭の土器が見つかり、県内の弥生時代の様子が明らかとなる可能性があります。

奈良・平安時代

令和2年度から2か年にわたり発掘調査を行ってきた奥州市水沢真城に所在する中林下遺跡ですが、今年度もその隣接地を調査することになりました。これまでの調査成果から、一般的な集落とは異なる官衙的な性格を持つと考えられ、今回の調査によって、遺跡の性格はより具体的なものとなるでしょう。

野田村中平遺跡も2年目の調査を実施します。県指定史跡「野田堅穴住居群」の北東に位



遺跡位置図

置するこの遺跡からは、堅穴住居跡をはじめとして、鉄などの生産関連遺構が確認されるかもしれません。

なお、国道4号の拡幅に伴う国指定史跡「鳥海柵」隣接地の西根遺跡、広大な面積を対象とする北上市岡田遺跡などでも、奈良・平安時代遺構の検出が予想されています。



縄文時代前期の竪穴住居群（野田村・中平遺跡）



柱根が残る大形柱穴の断面（奥州市・中林下遺跡）

中世

先述した中林下遺跡の昨年度調査では、戦国時代の終わりごろの掘立柱建物跡や堀跡、池状の遺構などの他、建築部材を含む多くの木製品類も出土しています。今年度の調査でも、岩手における中世の居館跡の様相がさらに明らかになるものと思われます。



被災ミュージアム再興事業の土器の修復作業

その他

ここに紹介してきた野外調査遺跡のほか、これまで確認されている中林下遺跡の遺構と出土遺物について整理作業を行っています。来年度の報告書発刊に向け、遺物実測や遺構の整理、原稿の執筆を進めます。

また、陸前高田市の「被災ミュージアム再興事業」として、被災した土器の復元なども受託する予定です。

（公益財団法人 岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター 調査課）

令和4年度

● (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの発掘調査遺跡一覧 ●

No.	調査遺跡名	ふりがな	市町村	事業名	調査面積 (㎡)	時代
1	中林下遺跡	なかばやしした	奥州市	一般国道4号水沢東バイパス	2,866	平安時代・中世
2	西根遺跡	にしね	金ケ崎町	一般国道4号金ケ崎拡幅	200	奈良・平安時代
3	サンニヤⅢ遺跡	さんにやさん	洋野町	三陸沿岸道路（侍浜～階上） 洋野種市 IC	5,242	縄文時代
4	天ヶ沢遺跡・ 滝大神Ⅰ遺跡	あまがさわ・た きおおがみいち	花巻市	経営体育成基盤整備事業 （砂子地区）	3,782	縄文・弥生時代
5	中平遺跡	なかたい	野田村	野田小学校建設事業	10,640	縄文時代・古代
6	太田林遺跡	おおたばやし	釜石市	橋野地区消防屯所建設事業	1,325	縄文・弥生時代・ 古代
7	岡田遺跡	おかだ	北上市	北上北部産業業務団地造成事業	55,572	縄文時代
7件8遺跡				総計	79,627	

東日本大震災関連復興調査から見た三陸の歴史

Part2(沿岸北部)

今回は、前回に続き、復興調査の成果を地域別にふりかえる3回シリーズの第2回として、沿岸北部(宮古市～山田町)を対象にご紹介します。



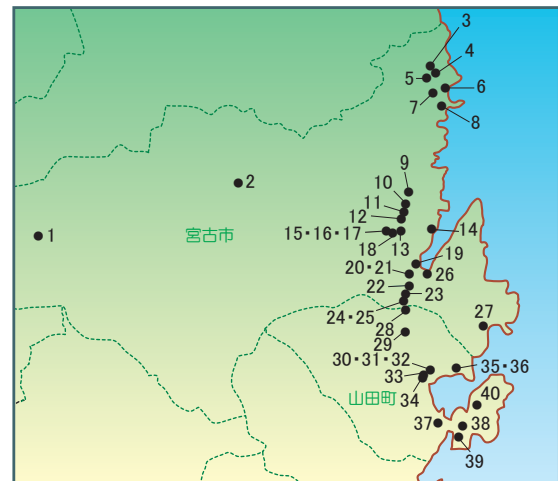
尾根から急斜面に広がる貯蔵穴 高根遺跡

震災後間もなくの平成24年度から令和元年度にかけて、宮古市では30遺跡192,077㎡、山田町では13遺跡137,218㎡の調査が行われました。2市町の調査面積は、当センターの復興関連調査の全体面積約75万㎡のおよそ44%を占めています。

1 縄文時代の集落と狩り場

早期から晩期の集落が確認され、なかでも前期・中期の大規模な集落が数多く確認されたことは特筆されます。宮古市高根遺跡では、比高50mの尾根から斜面一帯に400基を越える貯蔵穴群が見つかり、これまでの想像を超える圧倒的な景観を我々に提示しました。

また、山田町沢田Ⅲ遺跡では、貯蔵穴から約4kgのトチ、竪穴住居からクリ、シカ・イノシシの獣骨やアサリ主体の貝殻が大量に見つかり、当時の食料事情を直接的に示す物証が得ら



No.	遺跡名	調査年度	調査原因	面積(㎡)	報告書	No.	遺構名	調査年度	調査原因	面積(㎡)	報告書
1	岩井沢	2016	盛岡宮古横断道路	6,500	680集	9	高根	2014,15,16	三陸沿岸道路	10,460	724集
2	褰帯	2015	地域連携道路整備事業	1,600	662集	10	山口駒込Ⅰ	2015,16	三陸沿岸道路	4,009	696集
3	向新田Ⅲ	2014	三陸沿岸道路	2,005	657集	11	青猿Ⅰ	2015,16,17	三陸沿岸道路	14,500	711集
4	青野滝北Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	2014	三陸沿岸道路	8,600	658集	12	千徳城遺跡群	2016,17	三陸沿岸道路	6,000	712集
5	乙部	2013	三陸沿岸道路	2,500	630集	13	木戸井内Ⅵ	2014	宮古西道路	3,240	659集
6	重津部Ⅰ	2015	河川等災害復旧事業沼の浜地区整備事業	8,700	664集	14	磯鶏石崎	2014	宮古西道路	618	659集
7	乙部野Ⅱ	2015	三陸沿岸道路	4,494	682集	15	田鎖館跡	2016	宮古西道路	13,500	718集
8	越田松長根Ⅰ	2015	宮古市新田平乙部線道路	4,830	666集	16	田鎖	2015	宮古西道路	4,830	718集
						17	田鎖車堂前	2014,15,16,17	宮古西道路	19,155	718集
						18	松山館跡	2012	宮古西道路	16,000	625集
						19	金浜Ⅴ	2013	三陸沿岸道路	1,600	630集
						20	津軽石大森	2013	三陸沿岸道路	3,455	641集

れました。多くの集落は、断面フラスコ状の貯蔵穴が比較的標高の高い尾根から斜面につくられ、堅穴住居は低地につくられる傾向があります。内陸部と異なり、山稜が海岸線まで迫る沿岸部の特徴といえそうです。

津軽石川上流域の低地に位置する山田町豊間根新田Ⅰ遺跡や石峠Ⅱ遺跡では300基を超える、一遺跡としては県内最多の陥し穴が見つかりました。

2 弥生時代の集落

前期から後期の集落が確認されました。閉伊川より南側に位置する宮古市木戸井内Ⅵ遺跡で弥生時代後期に東北地方南部に多く見られる方形の堅穴住居が見つかりました。

3 古代の集落、製鉄関連遺跡

奈良時代から平安時代の集落が確認されました。宮古市津軽石大森遺跡など比較的広い低地や谷の緩斜面につくられた集落と、宮古市青猿Ⅰ遺跡など山間部の尾根筋につくられた集落があり、立地の違いが注目されます。

また、赤彩の壺や甕などの土器、和同開珎の銭貨など当時の交流の様相を知ることでできる貴重な遺物も見つかりました。

山田町間木戸Ⅴ遺跡や沢田Ⅲ遺跡で製鉄炉などが見つかり、三陸沿岸の古代の鉄づくりの貴重な事例が蓄積されました。



和同開珎／沢田Ⅲ遺跡



赤彩壺／津軽石大森遺跡



堀に囲まれた居館跡（宮古市・田鎖車堂前遺跡）

4 中世の居館跡、製鉄関連遺跡、城館跡

宮古市田鎖車堂前遺跡は、閉伊川に長沢川が合流する平野部の交通の要衝に位置しています。堀に囲まれた居館跡や大鎧の小札、かわらけなどが見つかり、奥州藤原氏の時代である12世紀の三陸沿岸の様相を知りえる大きな手がかりとなりました。

山田町焼山遺跡や宮古市根井沢穴田Ⅳ遺跡など多くの遺跡で中世の製鉄炉などが見つかり、古代の事例とあわせて、三陸沿岸の古代から中世の鉄づくりの変遷を辿れる資料が蓄積されました。今後の研究の進展が期待されます。

また、宮古市の千徳城遺跡群、田鎖館跡など戦国時代の城館跡の調査も行われました。

まとめ

調査内容は38冊の発掘調査報告書にまとめられました。今後は、得られた調査成果を地域の皆様にお伝えする努力を継続していきたいと思っています。

(主幹兼課長補佐 阿部 勝則)

No.	遺構名	調査年度	調査原因	面積 (㎡)	報告書
21	沼里	2014,16,17,19	三陸沿岸道路	3,786	684・692・721集
22	根井沢穴田Ⅳ	2015,16,17,19	三陸沿岸道路	1,998	683・692・721集
23	払川Ⅱ・Ⅲ	2013	三陸沿岸道路	6,400	643集
24	荷竹日向Ⅰ	2014,15	三陸沿岸道路	15,600	681集
25	荷竹日影Ⅱ	2015	三陸沿岸道路	2,100	675集
26	赤前Ⅲ	2013,14,15	防災集団移転促進事業、市道赤前上下線道路整備事業	15,197	650・665集
27	千鶏Ⅳ	2014,15	地域連携道路整備事業	10,400	663集
28	石峠Ⅱ	2013,14,15	三陸沿岸道路	9,698	709集
29	豊間根新田Ⅰ	2013	三陸沿岸道路	15,400	642集
30	間木戸Ⅴ	2013	三陸沿岸道路	1,200	640集
31	間木戸Ⅱ	2013	三陸沿岸道路	1,510	640集
32	間木戸Ⅰ	2013,14,15	三陸沿岸道路	9,800	723集
33	沢田Ⅲ	2013,14	三陸沿岸道路	9,600	722集
34	房の沢Ⅳ	2015	三陸沿岸道路	2,370	661集
35	浜川目沢田Ⅰ	2014	防災集団移転促進事業	6,240	689集
36	浜川目沢田Ⅱ	2016	主要地方道	13,500	679集
37	焼山	2013,14	防災集団移転促進事業	5,400	651集
38	クク井	2015	防災集団移転促進事業	4,800	667集
39	田の浜館跡	2013	防災集団移転促進事業	52,700	639集
40	川半貝塚	2015	町営災害公営住宅建設	5,000	668集

復興発掘調査展 ⑩ 洋野町

11月に洋野町民文化会館
セシリアホールで開催

期日

令和4年11月12日(土)

11月20日(日)

(16日(水)は休館)



土偶 (北ノ沢 I 遺跡)

埋蔵文化財センターでは、震災からの復興工事に先立って行われた発掘調査の成果を沿岸各地で地域ごとに展示してきました。6回目の今年は洋野町で、平成26年度から令和元年度にかけて行った町内21遺跡についての成果を展示します。

ほとんどが三陸沿岸道路建設のための調査で、洋野町を南北に縦断して発掘したことになります。縄文時代の遺跡が圧倒的に多く、県内でも最も古い部類の1万1千年以上前の土器や6,000年前の底の尖った形の土器、北海道産の石材を使用した石斧、4,000年前の環状列石など、当時の暮らしを物語る多くの発見がありました。

これらをご覧いただき、足下に眠っていた郷土の歴史に触れていただく機会にしたいと思います。

期間中はひろのカレッジと連携して、調査成果を直接報告する機会も設ける予定です。

皆様のご来場をお待ちしています。



西平内 I 遺跡の環状列石

人事動向

(令和4年4月1日付)

岩手県立埋蔵文化財センター

- ◆ 転出
盛岡市立本宮小学校校長 藤原 安生 (所長)
- ◆ 転入
所長 久慈 孝 (県生涯学習推進センター所長)
上席文化財専門員 鳥居 達人
(葛巻町立江刈中学校副校長)
- ◆ 兼任解除
佐藤 淳一 (上席文化財専門員)
長屋敷 淳史 (文化財専門員)
佐藤 郁哉 (文化財専門員)
- ◆ 兼任
文化財専門員 千葉 正彦
文化財調査員 須川 翼

(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

- ◆ 退職
猪久保 健一 (総務課長)
金子 佐知子 (参事兼調査課長)
- ◆ 採用
総務課長 山崎 隆 (事業団事務局長兼総務課長)
主任主査 金子 佐知子 (参事兼調査課長)
- ◆ 転出
博物館学芸第一課長 高木 晃 (主幹兼課長補佐)
美術館主任主査 久保田 幸恵 (主任主査)
- ◆ 転入
調査課長 濱田 宏 (博物館学芸第三課長)
主任文化財専門員 西澤 正晴
(平泉世界遺産ガイダンスセンター
主任専門学芸員)
- ◆ 兼任
主任主査 丸山 直美
(平泉世界遺産ガイダンスセンター主任主査)
- ◆ 昇任
主幹兼課長補佐 阿部 勝則 (主任文化財専門員)
主任文化財専門員 須原 拓 (文化財専門員)
主任文化財専門員 北田 勲 (文化財専門員)

発行 岩手県立埋蔵文化財センター
編集 (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185
電話 : 019-638-9001
E-Mail : i-maibun@echna.ne.jp
URL : <http://www.iwate-maibun.jp/>
発行日 令和4年6月30日
印刷 東京カラー印刷株式会社